



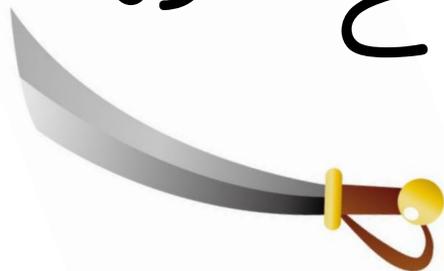
アリババと

よんじゅうしゅうん

四十人の

とんねん

「シンドバットの冒険」より
ぼうけん



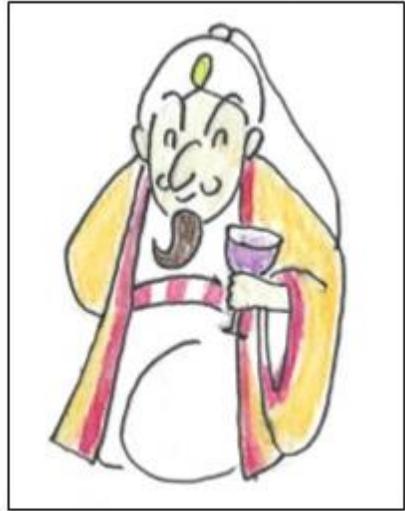
再話・挿絵
長谷部倫子

ペルシアの国のお話です。

二人の兄弟がいました。

お兄さんは、カシムです。

弟は、アリババです。



ある朝あさです。

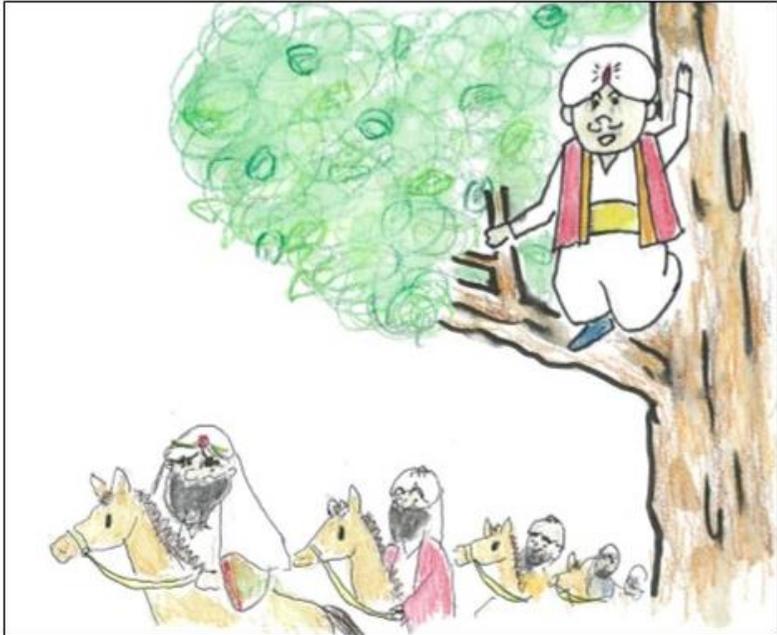
アリババは、山へ 行きました。

おおぜいの 男たちが

来ました。

どうぞくたちです。

アリババは、木のぼに登りました。



とうぞくたちは、四十人もいます。

とうぞくの頭が、

かしら

さげびました。

「ひらけ、ごま。」

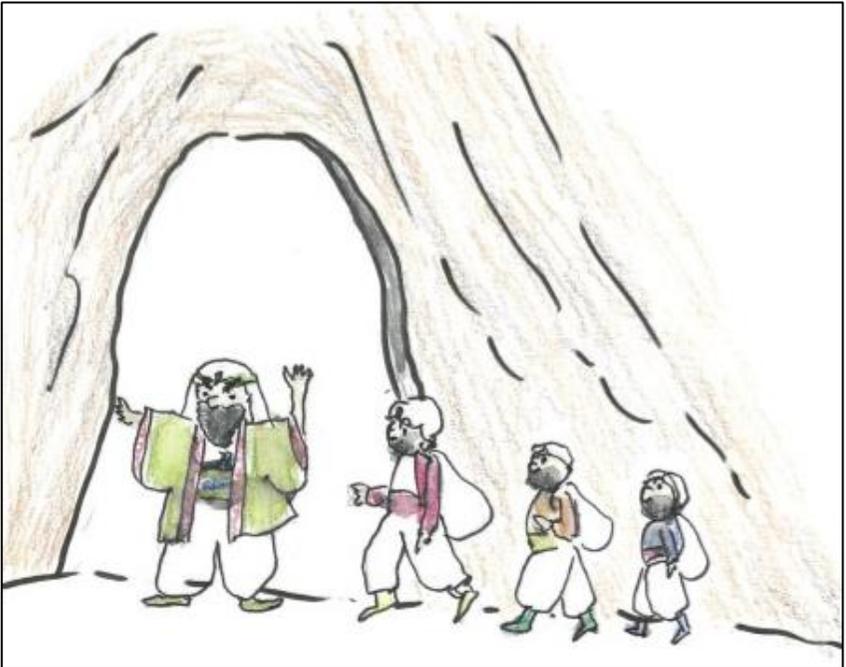
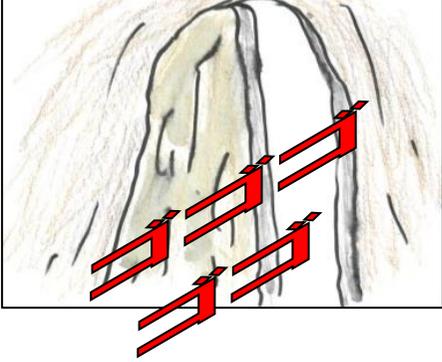
すると……、



ほらあなが
ひら
開きました。

とうぞくたちは、

ほらあなの中に入りました。



そして、ほらあなから 出ました。

とうぞくの頭が、

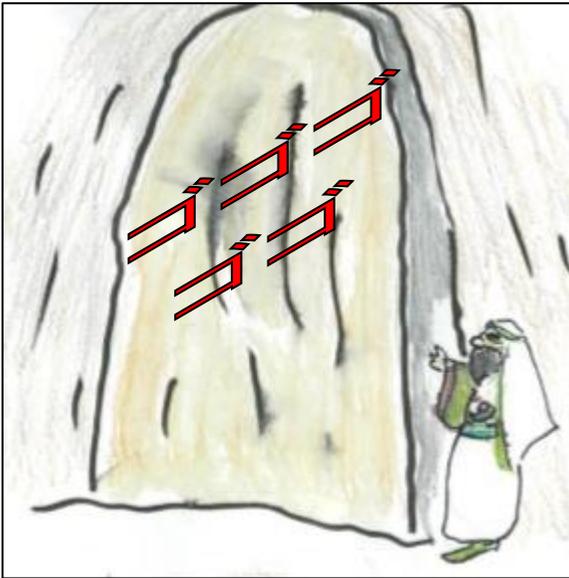
かしら

さけびました。

「とじろ、ごま。」

すると…、

ほらあなが と 閉じました。



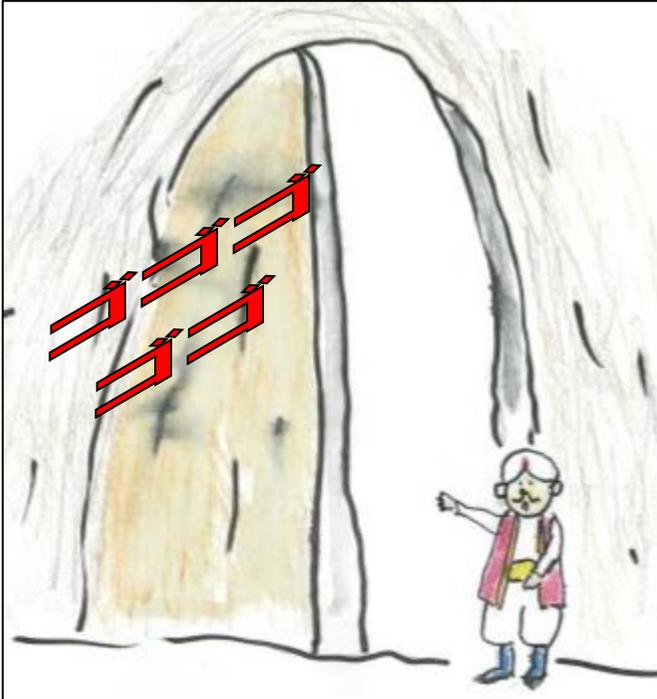
アリババは、木から
おりました。

アリババも、

さげびました。

「ひらけ、ごま。」

すると…、



ほらあなが ひら 開きました。

きんか 金貨や たからもの 宝物が

たくさん ありました。

「これは、すごい。」

アリババは、きんか 金貨を ふくろに 入れました。



アリババは、ほらあなを 出ました。

そして、さけびました。

「どじろ、ごま。」

それから、おおいそ大急ぎで

いえ かせ家に帰りました。



カシムは、たからもの宝物の話を聞きました。

すぐアリババの家に 行きました。

そして、「ひらけ、ごま。」と

「とじろ、ごま。」の じゅもん呪文を

聞きました。



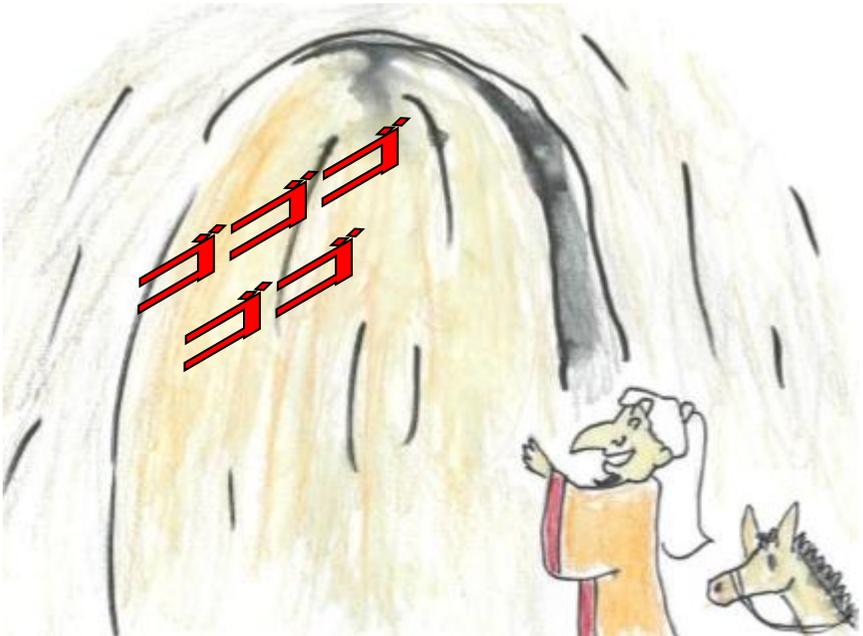
カシムは 山へ行きました。

そして、さけびました。

「ひらけ、ごま。」

すると……、

ほらあなが ひら 開きました。



「うわあ、宝だ、宝だ！」
たから

おおよろこ

カシムは、大喜びです。



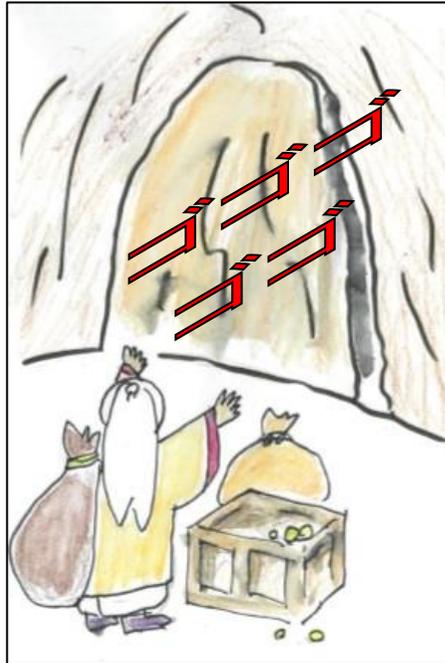
「だれかが 見たら 大変だ。」
たいへん

カシムは、さげびました。

「どじろ、ごま。」

ほらあなが と 閉じました。

そして、金貨を きんか たくさん ふくろに 入れました。



ところが、呪文の言葉を

じゅもん

ことば

わす
忘れてました。



「ひらけ、米。こめひらけ、豆。まめひらけ、おかし。」

カシムは、いろいろな言葉ことばを

さげびました。

でも、ほらあなたは、開ひらきません。

そのとき、とつぜん、入口いりぐちが開ひらきました。

とうぞくたちが 来きました。

とうぞくたちは、カシムを 見みつけました。



とうぞくの頭は、かしら 刀を かたな ぬきました。
そして・・・

カシムを

き 切り殺して ころ しまいました。



日本語学習読本 NO.10

レベル1 「アリババと四十人のとうぞく」

2016年11月10日

再話・挿絵 長谷部倫子

表紙イラスト イラスト AC <http://www.ac-illustr.com/>

日本語学習読本 「アリババと四十人のとうぞく」	
語彙数	108
文字数	823
レベル	1